

令和 6 年度事業報告 決算概要

公益財団法人 福島県産業振興センター

FUKUSHIMA CENTER FOR INDUSTRIAL PROMOTION

目 次

□ 事業報告

◆ 事業体系

I	新たな産業の創出・技術革新支援	・ ・ ・ ・ ・	P 4
II	経営課題へのワンストップ総合支援	・ ・ ・ ・ ・	P 1 0
III	より確かな経営基盤強化への支援	・ ・ ・ ・ ・	P 1 5
IV	変革の時代を乗り越える人材育成・確保支援	・ ・ ・ ・ ・	P 2 0
V	公の施設の管理運営による多様な交流の促進	・ ・ ・ ・ ・	P 2 1

□ 決算概要

1	正味財産増減計算書 決算（要約）	・ ・ ・ ・ ・	P 2 4
2	貸借対照表 決算（要約）	・ ・ ・ ・ ・	P 2 5

◆ 事業体系

福島県の産業振興支援

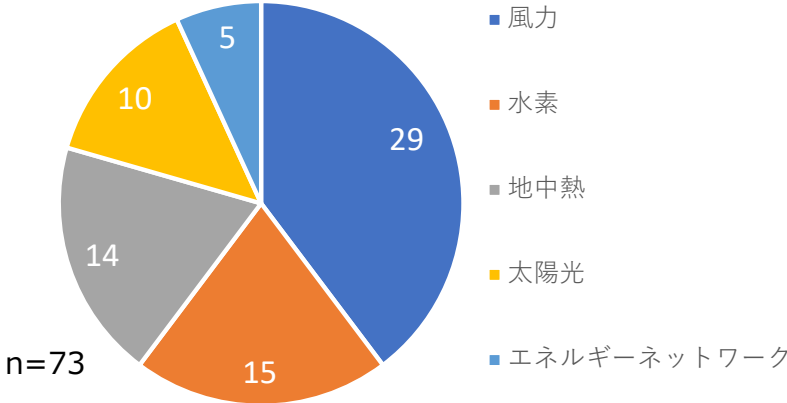
公益目的事業会計1	I 新たな産業の創出・技術革新支援		公益目的事業会計2	Ⅲ より確かな経営基盤強化への支援	
	1 次世代産業等の育成支援			1 設備投資の支援	
		(1) 再生可能エネルギー産業集積・育成事業		(1) 機械貸与事業	
	拡充	(2) 創業促進支援事業		2 取引先の拡大支援	
	2 知的財産戦略の支援			(1) 取引先拡大支援事業	
	(1) 産業財産権取得支援事業			(2) 上海拠点運営事業	
	3 技術革新・研究開発の支援			3 被災事業者等の資金支援	
	(1) ふくしま産業応援ファンド事業			(1) 被災中小企業施設・設備整備支援事業	
	(2) 競争的研究資金獲得支援事業			(2) 原子力災害に伴う「特定地域中小企業特別資金」貸付事業	
				(3) 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助事業基金管理事業	
				(4) 被災中小企業災害復旧資金利子補給助成事業	
				(5) 新型コロナウイルス対策利子補給支援事業	
	II 経営課題へのワンストップ総合支援			IV 変革の時代を乗り越える人材育成・確保支援	
	1 経営課題の解決支援			1 産業人材の育成・確保支援	
	(1) 経営支援プラザ等運営事業			(1) 産業人材育成支援事業	
	(2) よろず支援拠点事業			(2) プロフェッショナル人材戦略拠点事業（再掲）	
	(3) 事業承継・引継ぎ支援事業			2 デジタル化の促進支援	
	(4) プロフェッショナル人材戦略拠点事業			(1) デジタル化促進支援事業（再掲）	
	(5) デジタル化促進支援事業				
	2 中小企業の再生支援			V 公の施設の管理運営による多様な交流の促進	
(1) 中小企業活性化事業		1 公の施設の管理運営			
(2) 産業復興相談センター事業		(1) 福島県産業交流館（ビッグパレットふくしま）の管理運営			
		(2) 福島県中小企業振興館・福島市産業交流プラザ（コラッセふくしま会議室）の管理運営			
		(3) 福島県ハイテクプラザ（一部）の管理運営			

(1) 再生可能エネルギー産業集積・育成事業

指 標		実績	計画
重点	エネルギー・エージェンシーふくしまの支援による成約件数（件）	73	34
	R E I F ふくしまの出展企業・団体数（者）	209	240
活動	福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 会員数（者）	1,090	1,057
	相談対応等企業訪問件数（件）	920	800
	R E I F ふくしまの海外出展企業・団体数（者）	22	20

事業名	事業費	担当部局
①エネルギー・エージェンシーふくしまの運営	122,450千円（受託金）	次世代産業課
②福島県エネルギー・環境・リサイクル関連産業推進委託業務	13,849千円（受託金）	次世代産業課
③福島県風力メンテナンス推進事業委託業務	9,084千円（受託金）	次世代産業課
④2023年度被災地企業等再生可能エネルギー技術シーズ開発・事業化支援事業にかかるプロジェクト支援業務	13,920千円（受託金）	産業技術総合研究所
⑤R E I F ふくしま 2024 開催事業委託業務	30,455千円（受託金）	次世代産業課
⑥「風力発電の維持管理等の技術開発・人材育成拠点の形成」に係る人材育成拠点機能の形成事業	1,731千円（受託金）	産業技術総合研究所
⑦福島県海外連携交流事業（有望企業等招聘）	5,834千円（受託金）	次世代産業課
⑧福島県海外連携交流事業（海外事業化支援）	7,071円（受託金）	次世代産業課

成約の分野別内訳



○成約内容

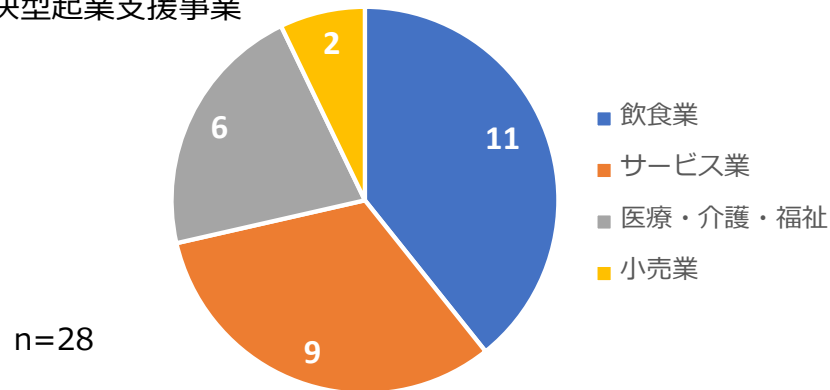
分野	成約件数	調査等受託	工事請負	保守点検	製品売買	その他	成約事例
風力	29	3	12	4	10		風車部材受入検査、風車の保守点検、変圧器設置
エネネット	5				5		太陽光発電設備新設
地中熱	14	8	5		1		地中熱設備設置
水素	15	14	1				水素関連施設維持管理
太陽光	10	10					太陽光発電所緊急時対応、巡回点検

○ エネルギー・エージェンシーふくしまの主な活動実績

- ・再エネ関連産業新規参入企業の発掘 31社
- ・再エネ人材育成伴走支援 20社
- ・再エネ事業化伴走支援 50社
- ・事業化に向けて取り組んでいるワーキンググループに対する支援 5グループ（風力、水素2、地中熱、バイオマス）

(2) 創業促進支援事業

指 標		実績	計画
重点	助成事業による起業数（件）	27	30
	応募件数（件）	85	50
活動	採択件数（件）	28	30

地域課題解決型起業支援事業
採択業種

① 地域課題解決型起業支援事業

- ・「社会性」「事業性」「必要性」の観点を持って、地域の課題解決に資する社会的事業を支援するため、新たに起業する際に必要な経費の一部を補助した。
- ・専門的な知識やノウハウを持つ「起業サポーター」を補助対象者に派遣し、伴走支援を実施した。

助成限度額	200万円
助成率	助成対象経費の2分の1以内

事業名	事業費	担当部局
①地域課題解決型起業支援事業	55,361千円（補助金）	産業振興課
②テック系起業家支援事業	22,324千円（受託金）	産業振興課

② テック系起業家支援事業

独自の技術を活用して起業したテック系スタートアップを対象とする技術相談窓口を設置し、県内企業とのマッチングや支援制度への橋渡しを行うなど、テック系スタートアップが抱える様々な課題の解決を支援した。

テック系スタートアップからの相談対応	120件
テック系スタートアップと県内企業等とのマッチング	6件
テック系スタートアップセミナーの開催	4回

支援事例

スタートアップ企業： クレスール（株）（大熊町）

マッチング相手企業： 共栄（株）（いわき市）

概要： バイオガス発電で生成されるガスの化学変換の実証試験
（場所： バイオマスいわき南発電所）

セミナー例

講師：（株）ライスレジン、FABtecoh、（株）福島シービー

参加者： 27名



(2) 創業促進支援事業 (R6新規)

③ アカデミアシーズ創出等事業

県内大学発スタートアップが持続的に創出される仕組みの構築や土壌の醸成等の更なる推進を図るため、県内大学等と連携し、候補者の発掘から事業立ち上げ支援までを一体的に実施した。

また、県の創業支援ウェブサイト「ビズスタふくしま」を運営し、創業支援情報を広く発信するとともに、福島県インキュベート施設ネットワーク協議会や支援人材のスキル向上を図るセミナー等を開催した。

事業名	事業費	担当部局
③アカデミアシーズ創出等事業	39,634千円（受託金）	産業振興課

県内大学教員等の訪問調査	55者
研究成果による起業や事業化に向けた試作開発等支援	11件

○試作開発等支援事例

『布上に柔らかい圧力センサを自動形成する技術の開発』

会津大学 上級准教授 荊雷 氏

『腹腔鏡下手術に特化した発光クリップの研究開発』

福島大学 准教授 稲田シュンコ アルバーノ 氏

『高精度3Dマップとみちびきを利用した自動運転システムの標準化』

福島工業高等専門学校 教授 芥川一則 氏

『廃米プラスチックを利活用したアスファルト舗装材料の開発』

日本大学工学部 専任講師 前島拓 氏

『エゴマの酸化を抑制する焙煎条件の最適化の食品素材の開発』

郡山女子大学 准教授 郡司尚子 氏



エゴマ搾りかすパウダー入り米粉麺の試作と試食
(左5%配合、右10%配合)

(1) 産業財産権取得支援事業

指 標			実績	計画
重点	助成事業による産業財産権の出願件数（件）	国内	36	20
		外国	6	7
活動	相談件数（件）	国内	43	40
		外国	33	30
	助成金応募件数（件）	国内	35	25
		外国	6	10
	助成金採択件数（件）	国内	35	20
		外国	6	7

※出願件数は複数出願を含む

県内に事業所を有する中小企業等が戦略性のある研究開発を行い、その成果に係る国内外の産業財産の権利化を促進するため、出願等の一部経費を助成した。

① 特許等調査・出願経費助成事業（国内）

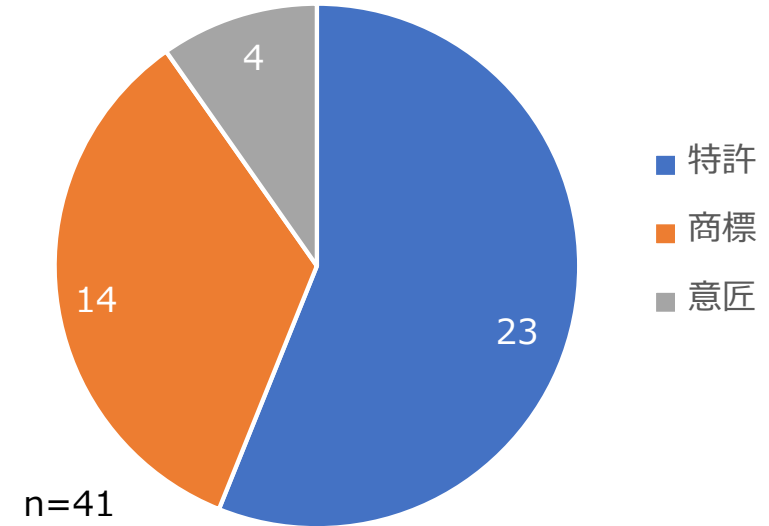
公 募 3回（5/20～6/28、9/17～10/25、11/19～12/13）
 応募件数 35件
 採択件数 35件（中止2件含む）

② 海外出願支援事業（外国）

公 募 3回（5/20～6/20、7/16～8/30、9/24～10/25）
 応募件数 6件
 採択件数 6件 ※全国版公募への橋渡し採択1件含む

事業名	事業費	担当部局
①特許等調査・出願経費助成事業	5,806千円（補助金）	産業振興課
②海外出願支援事業	3,255千円（補助金）	東北経産局

採択区分（国内・外国）



支援事例

採択者名：株式会社富久栄商会（郡山市）
 出 願 先：外国（中国、韓国、シンガポール、ベトナム、台湾）
 出願区分：商標2件

富久栄珈琲
FUKUEI COFFEE



概 要：コーヒー需要が高まりつつあるアジア圏の国々に進出するにあたり、現地で高品質な自社製品を差別化し、ブランドを保護するため、商標権の獲得を図った。

(1) ふくしま産業応援ファンド事業

指 標		実績	計画
重点	製品開発等事業化件数（件）	5	7
	相談件数（件）	117	110
活動	応募件数（件）	34	35
	採択件数（件）	17	24

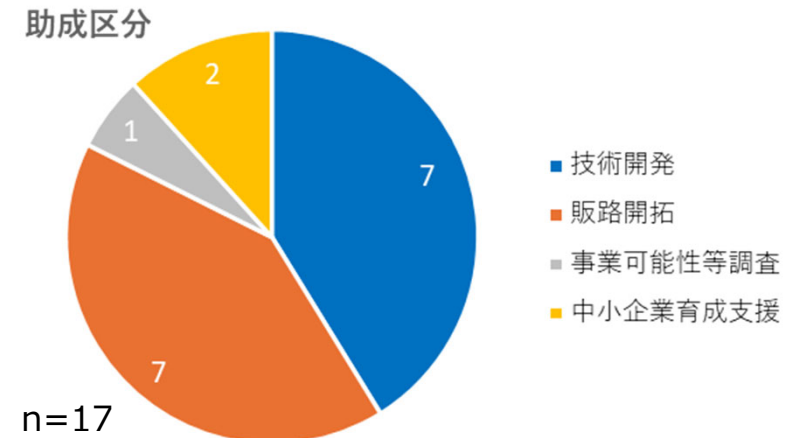
① 製品開発・事業化促進経費助成事業

助成限度額	事業可能性等調査事業	100万円
	技術開発等事業	500万円
	販路開拓事業	100万円
助成率	助成対象経費の2分の1以内	

② 中小企業育成支援事業

助成限度額	100万円
助成率	助成対象経費の10分の10以内

事業名	事業費	担当部局
ふくしま産業応援ファンド事業	基金 50億1千万円 事業費 27,515千円（運用益、補助金）	産業振興課



支援事例

事業者名：東和産業株式会社（本宮市）

テーマ：産業動物(牛)の見守りシステムの開発

概要：IoTデバイスとクラウド活用による牛のバイタルデータを取り込み、データ解析による健康管理、ストレス状態、発情期の予知アルゴリズムが可能となるシステムを開発した。

採 択：令和4年度（技術開発）
令和5年度（技術開発）
令和6年度（販路開拓）

事業化：令和6年9月



(2) 競争的研究資金獲得支援事業

事業名	事業費	担当部局
競争的研究資金獲得支援事業	23千円（補助金） 76千円（自己資金）	東北経産局

	指 標	実績	計画
重点	競争的研究資金の獲得件数（件）	7	5
活動	相談件数（件）	102	100
	外部資金獲得を目指す 研究開発等支援件数（件）	10	10

成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省Go-Tech事業）のテーマ

・継続 3件

テーマ名 『セルロース純度向上とリグニンの選択的残存を目的とした省エネルギー・環境配慮型の機械的洗浄手法の確立』

期 間 令和5年度～令和7年度

実施機関 トレ食株式会社（南相馬市）、北海道大学

テーマ名 『AI（深層学習）を活用した地物自動抽出技術を活用した広域災害における**共通状況図**の研究開発』

期 間 令和5年度～令和6年度

実施機関 株式会社テラ・ラボ（南相馬市）

テーマ名 『アウトオブオートクレーブによる**CFRP**構造化部材からの軽量高減衰治具の開発』

期 間 令和4年度～令和6年度

実施機関 丸隆工業（株）（会津若松市）、富山大学



セルロース連続式処理装置



災害場所の共通状況図例



CFRP治具の試作例（自動車部品用）

(1) 経営支援プラザ等運営事業

指標		実績	計画
重点 活動	経営課題の解決件数（件）	46	74
	相談件数（件）	862	750
	専門家派遣件数（件）	159	250
	メールマガジン配信件数（件）	72,025	60,000

① 経営支援プラザの運営

窓口専門スタッフ	4名
----------	----

② 専門家派遣制度

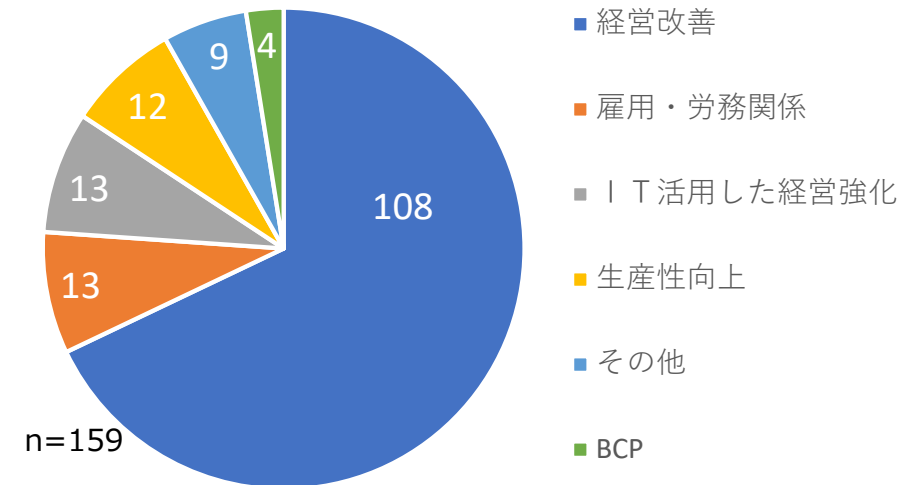
一般枠	47回(11企業)
経営強化・復興・事業承継・事業者BCP枠	112回(28企業)

③ 専門家活用セミナー

専門家活用セミナー	4回
-----------	----

事業名	事業費	担当部局
経営支援プラザ等運営事業	112,576千円（補助金）	経営金融課
専門家活用経営支援事業	5,564千円（補助金）	経営金融課

専門家派遣内容



支援事例

企業名	蒲田金属工業株式会社（大玉村）
相談内容	大型製品の新規受注に伴い、生産ラインの生産性が低下したため、改善を図りたい。
提案内容	生産サイクルが異なる大型製品と小型製品（既存製品）を混流して生産しており、その結果生産リードタイムが延び生産性が低下していたため、次の提案をした。 ・ボトルネック工程の複線化 ・複線化に伴う最適な生産体制の検討 ・若手リーダーの責任者への登用
結 果	・生産性が46%向上した。 ・納期対応による残業時間が減少し、従業員の負担の軽減および収益性の向上を図ることができた。

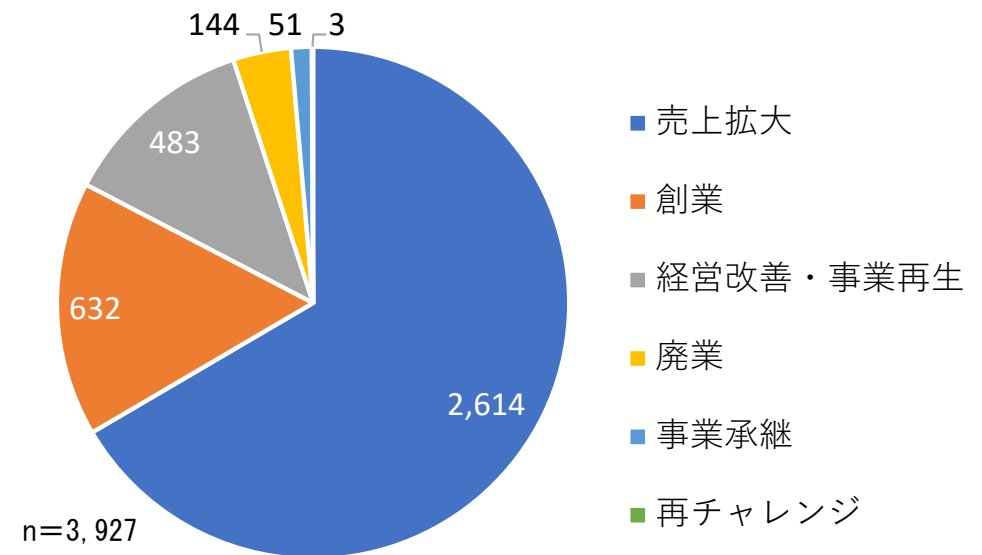
(2) よろず支援拠点事業

	指 標	実績	計画
重点	経営課題の解決件数（件）	62	460
活動	相談件数（件）	3,927	2,701

- ・福島県中小企業活性化協議会、福島県事業承継・引継ぎセンターと定例ミーティングを開催し、各機関の相談案件の橋渡しを行うなど連携強化を図った。
- ・相談事業者の特徴としては、売上拡大に関する相談や資金繰り改善に関する相談が多い。昨年比では創業に関する相談が増加した。
- ・1社につき1件の課題設定など、よろず支援拠点全国本部の課題解決基準が大幅に見直されたことから、解決件数は計画に対して大幅な減少となった。

事業名	事業費	担当部局
よろず支援拠点事業	86,358千円（受託金）	東北経済産業局

課題別相談件数



支援事例

事業者名：村上スポーツ店株式会社

業 種：スポーツ用品販売、トレーニングジム

支援内容：事業再構築補助金の申請に向け、補助金の概要や目的を説明。次に計画書の事例集と補助金申請する際の必要項目を提示し、何をどう伝えるかをアドバイス。計画書を策定し、申請に関して必要な書類等について白河商工会議所の担当者と連携。

結 果：1回目の不採択を受けて、計画書の内容をブラッシュアップし3回目の申請で採択。併設ジム開設による再構築事業を実行した。



(3) 事業承継・引継ぎ支援事業

	指 標	実績	計画
重点	成約件数（件）	54	40
活動	相談事業者数（件）	228	220

① 事業承継・引継ぎ支援センター事業

- ・一昨年度に初開催した「承継ネットワーク情報連絡会」を契機に、よろず支援拠点も含めた連携関係が着実に進みつつある。
- ・テレビCMを活用した広告を実施やセミナーへの積極的支援によりセンターの認知度は上がりつつあり、相談件数は増加傾向で推移した。

② 事業承継支援人材育成事業

中小企業支援担当者育成研修会の開催（商工・金融機関向け）	1回
事業承継税制等支援者養成研修会の開催（税理士向け）	2回
事業承継税制等活用户支援研修会の開催（経営者向け）	1回

支援事例

事業者名：株式会社KAJUAN

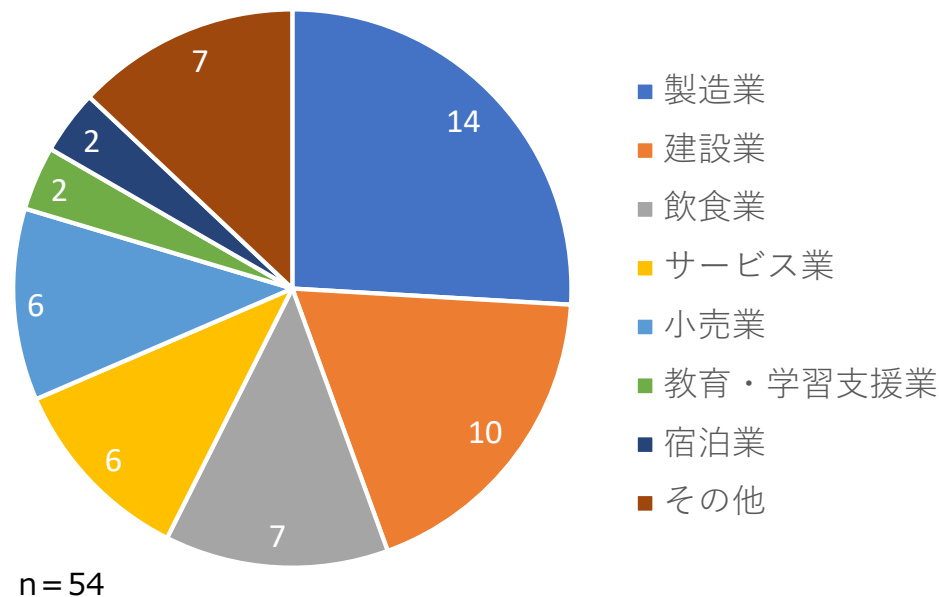
業 種：菓子製造販売業（福島市）

相談経緯：事業立ち上げから関わり、店長をしていた代表者が「果寿庵」事業を引き受けることとなり、福島商工会議所および当センターに相談。

結 果：当センターでは、引継ぎに関する各種助言を行いつつ、福島商工会議所とよろず支援拠点においても各種経営支援を行い新たに設立した法人が事業を引き継いだ。

事業の内容・事業名	事業費	担当部局
①事業承継・引継ぎ支援センター事業	94,087千円（受託金）	東北経済産業局
②事業承継支援人材育成事業	2,382千円（受託金）	経営金融課

業種別成約件数



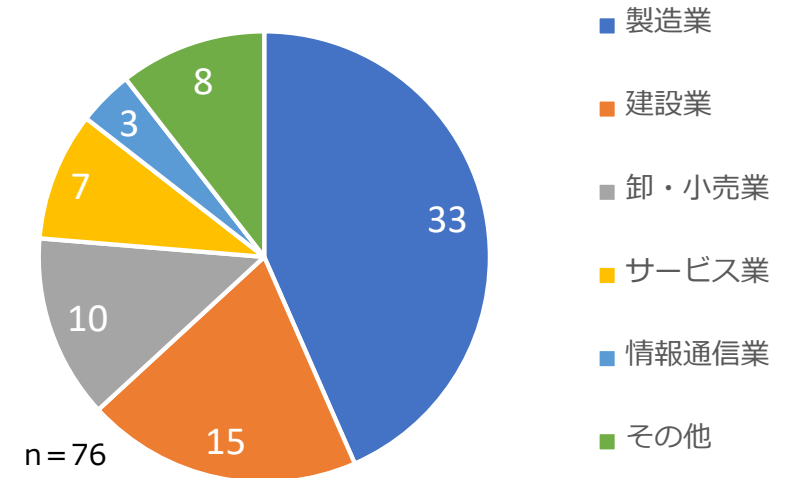
(4) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

	指 標	実績	計画
重点	成約件数（件）	76	42
活動	相談件数（件）	282	245

プロフェッショナル人材の活用による企業の経営革新の実現を促し、地方への人材還流、集積を促進するため、人材のマッチングやセミナーの開催などを通して県内中小企業等の人材確保を支援した。

事業名	事業費	担当部局
プロフェッショナル人材戦略拠点事業	45,242千円（受託金）	経営金融課

成約件数（業種別内訳）



支援事例

事業者名：ニダック精密株式会社

業 種：製造業（相馬市）

相談経緯：受注増加により生産管理課の業務量が増大する中で、
生産管理体制の強化に向けて新たな人材確保の相談に至った。

結 果：異業種を経験した人材1名の採用となり、同課課長の負担軽減のほか
工程管理の見える化などに着手し、効率的な生産体制構築に貢献している。



(5) デジタル化促進支援事業

	指 標	実績	計画
重点	デジタル化関連の相談件数（件）	684	500
活動	セミナー受講者数（人）	84	50

○ デジタル化関連の相談対応

生産性向上や効率化を図るための業務のIT化、WEBやSNSを活用した情報発信等についての相談が寄せられた。

○ セミナーの開催

日 時：令和7年2月7日

テ マ：中小企業におけるAI最新活用術

受講者数：84人

肯定的評価：94.1%

(1) 中小企業再生支援事業
(2) 産業復興相談センター事業

事業名	事業費	担当部局
中小企業再生支援事業	190,338千円（受託金） 89,958千円（受託金）	東北経産局 中小機構

(1) 中小企業再生支援事業

	指 標	実績	計画
重点	再生計画完了件数（件）	55	—
活動	相談件数（件）	145	80
	経営改善計画策定支援の利用申請件数（件）	79	80

コロナ融資の据置期間の終了及び公租公課の納税猶予措置の終了もあり、資金繰り相談や計画策定の相談が増加し、計画を上回る実績となった。

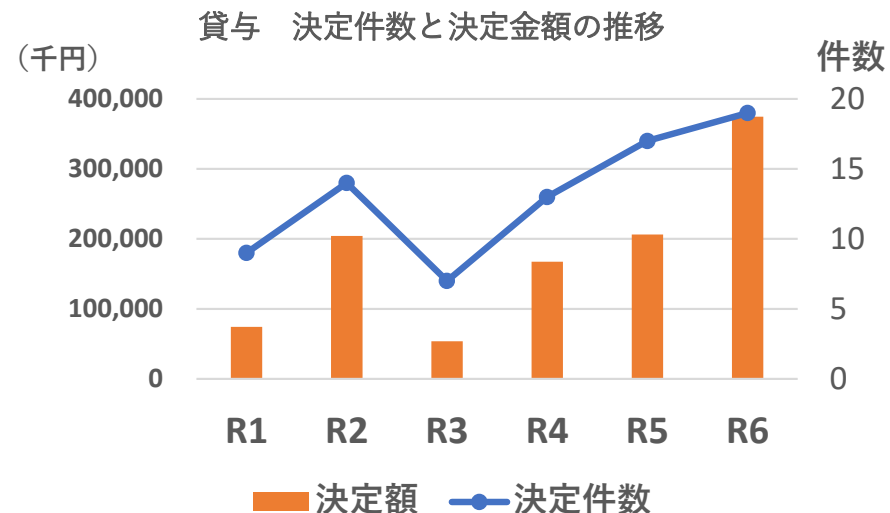
(2) 産業復興相談センター事業

	指 標	実績	計画
参考	エグジット件数（件）	7	7

(1) 機械貸与事業

指 標		実績	計画
重点 活動	設備投資件数（件）	19	40
	申込件数（件）	22	50
	決定件数（件）	19	40

事業名	事業費	担当部局
機械貸与事業	270,816千円（福島県借入金）	経営金融課



支援事例（設備更新に対する支援）

事業者名：株式会社日高リネンサプライ（郡山市）

業 種：リネンサプライ業

金 額：56,430千円（割賦/期間10年）

設 備：空気余熱機、サイクロン、ダクト、冷却ファン他

概 要：県内の大手小売業や母畑温泉の有名な老舗旅館を顧客に持つリネンサプライ業。日和田工場を廃止し富久山工場を新設、移転。主力設備の空気余熱機やサイクロンなどの更新に対して当センター設備貸与制度にて支援。



(1) 取引先拡大支援事業

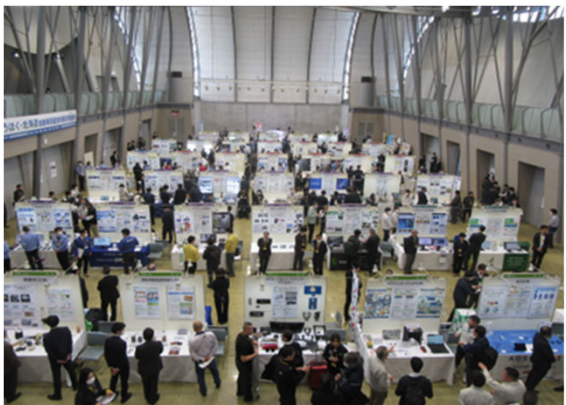
	指 標	実績	計画
重点	取引あっせんによる 成約件数（件）	95	93
活動	取引あっせん件数（件）	1,598	1,550

主な実施事業



2024福島広域商談会 (下請中小企業振興事業)

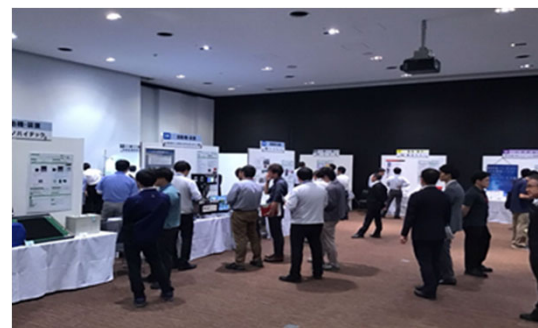
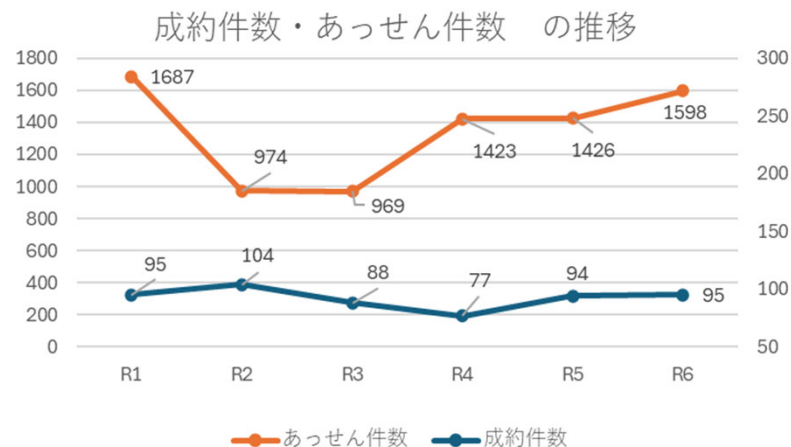
令和6年7月24日開催
(7月30日オンライン開催)
参加企業数：発注企業 115社
受注企業 214社



8 道県合同での展示商談会 (輸送用機械関連産業育成事業)

令和7年2月6日～7日開催
開催先：刈谷市産業振興センター
出展企業数：86社
(うち福島県10社)

事業名	事業費	担当部局
①下請中小企業振興事業	40,514千円（補助金）	企業立地課
②輸送用機械関連産業育成事業	3,011千円（補助金）	企業立地課
③次世代自動車技術関連企業支援事業	20,536千円（受託金）	企業立地課



特定メーカーでの展示商談会 (次世代自動車技術関連企業支援事業)

令和6年10月10日開催
開催先：(株)アイシン
(愛知県安城市)
出展企業数：17社



大規模展示会出展支援 (次世代自動車技術関連企業支援事業)

令和7年1月22日～24日開催
出展催事：
オートモティブワールド
2025(東京ビッグサイト)
出展企業数：8社

(2) 上海拠点運営事業

事業名	事業費	担当部局
①上海拠点運営事業	29,726千円(受託金)	商工総務課
②福島インバウンド誘客周遊促進事業 (中国・香港市場)	176千円(受託金)	観光交流課

指 標	実 績
来訪者数	127名(うちミッション団 0名)
便宜供与(仲介・斡旋等)	111件
送客件数	1組 25名

- ・ 県内企業が中国に進出する際の仲立ち支援
- ・ 中国人観光客の本県への誘致
- ・ アジア地域への県産品販路拡大に向けた各種支援

(1) 被災中小企業施設・設備整備支援事業

事業名	事業費	担当部局
東日本大震災・令和3年・令和4年福島県沖地震	当初貸付枠 9,000,000千円（福島県借入金） 事務費充当基金 7,264,000千円（福島県借入金） 事業費 21,990千円（事務費充当基金の運用益）	経営金融課
令和元年台風19号等	当初貸付枠 1,250,000千円（福島県借入金） 事業費 1,106千円（中小機構助成金）	経営金融課

区分	貸付決定件数及び金額			
	累計		令和6年度	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
東日本大震災	210	7,216,899	0	0
令和3年福島県沖地震	9	567,000	1	9,500
令和4年福島県沖地震	7	246,200	2	76,300
令和元年台風第19号等	5	109,700	0	0
合計	231	8,139,799	3	85,800

支援事例（R3およびR4福島県沖地震）

事業者名 東日本倉庫株式会社

業種 倉庫業（郡山市）

金額 14,500千円（期間20年）

（概要）令和3年および令和4年福島県沖地震で郡山市と須賀川市にある倉庫施設が破損。復旧に係る費用総額107,052千円に対しグループ補助金31,714千円と当センター貸付にて修繕。



(2) 原子力災害に伴う「特定地域中小企業特別資金」貸付事業

事業名	事業費	担当部局
原子力災害	当初貸付枠 39,330,000千円 事務費充当基金 31,100,000千円（福島県借入金） 事業費 156,682千円（事務費充当基金の運用益）	経営金融課

区分	貸付決定件数及び金額			
	累計		令和6年度	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
A資金	567	11,985,790	0	0
B資金	359	3,670,146	1	10,000
C資金	23	181,241	2	18,240
合計	949	15,837,177	3	28,240

支援事例

事業者名 株式会社阿久津材木店

業種 木材・木製品製造業（浪江町）

金額 10,500千円（期間20年）

（概要）原発事故後は相馬市に移転して事業を継続。浪江町での営業を再開するため、事務所及び倉庫を新築。事業費52,250千円に対し再開等支援補助金22,500千円と当センターで貸付を実施（C資金）



(3) 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助事業基金 管理事業

事業名	事業費	担当部局
自立・帰還支援 企業立地補助事 業	基 金 787億7,454万6千円 （経済産業省補助金（長期預かり金） 事業費 220,976千円（基金取崩し）	経済産業省

令和6年度中に行った公募

事業種別	公募期間	採択／応募	採択額
製造・サービス業等 立地支援事業	R6.4.5-R6.7.5	12件／27件	9,374,878千円
商業施設等復興整備 補助事業	R6.4.26-R7.3.31	5件／5件	4,887,592千円
地域経済効果 立地支援事業	R6.4.5-R6.7.5	3件／5件	3,059,937千円
合計		20件/37件	17,322,407千円

令和6年度末までの累計と補助金の支払い状況

事業種別	採択 件数	交付決定 件数	補助金 支払件数	補助金 支払額
製造・サービス業等 立地支援事業	179件	137件	85件	45,615,151千円
商業施設等復興整備 補助事業	18件	17件	8件	2,940,099千円
サプライチェーン対 策投資促進事業	3件	3件	1件	194,200千円
地域経済効果 立地支援事業	12件	8件	2件	566,530千円
合計	212件	165件	96件	49,315,980千円

(1) 産業人材育成支援事業

	指標	実績	計画
重点 活動	受講者からの肯定的評価（％）	97.9	90.0
	セミナー実施回数（件）	48	38
	セミナー受講者数（人）	901	690

① 経営力育成講座

テーマ	受講者数	開催場所
管理会計	44名	福島市
人材定着のための採用・育成	17名	
全員参加型組織の作り方	12名	
経営計画の作成	16名	
マーケティング	10名	

② 経営実践セミナー

テーマ	受講者数	開催場所
製造業新入社員教育セミナー	12名	福島市
5Sセミナー	17名	福島市
5S実践工場見学会	11名	本宮市



事業名	事業費	担当部局
産業人材育成支援事業	6,875千円（受講料） 6,817千円（自己財源）	－

③ デジタル化普及啓発セミナー

テーマ	受講者数	開催場所
中小企業におけるAI最新活用術	84名	福島市

④ 製造中核人材育成セミナー

コース	テーマ	参加人数	開催場所
技術研修	CAD/CAE、製品含有化学物質管理、試料作成の基礎など（15回）	277名	郡山市 福島市
I S O 研修	9001と14001の基礎及び内部監査員養成など（12回）	217名	
一般研修	なぜなぜ分析演習など（3回）	62名	

⑤ 専門家活用セミナー

テーマ	受講者数	開催場所
Instagram活用セミナー（4回）	122名	郡山市

⑥ 講演会

テーマ	開催場所
心の復興に取り組み13年、次は－ 町工場発！二代目の経営改革と人材育成	福島市 郡山市

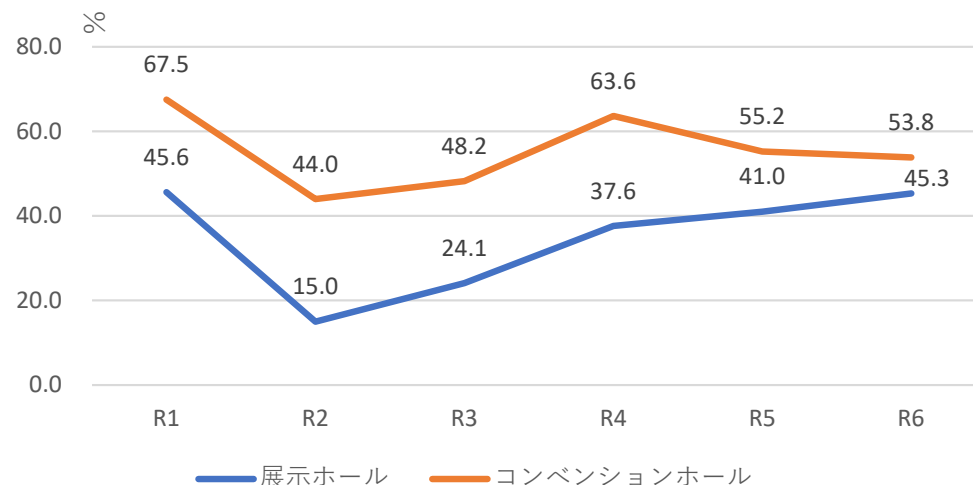
※一般財団法人とうほう地域総合研究所と共催

(1) 福島県産業交流館（ビッグパレットふくしま）の 管理運営

指 標		実績	計画
重点	多目的展示ホールの施設稼働率 (%)	45.3	40.0
	コンベンションホールの施設稼働率 (%)	53.8	55.0
活動	全国、東北規模の大会及び学会開催 件数 (件)	9	6

事業名	事業費	担当部局
産業交流館管理運営事業	253,277千円（施設利用料） 147,784千円（指定管理料）	観光交流課

面積稼働率の推移



主な取組事例

- 指定管理者として、館の貸出と維持管理を行った。
- 館の利用促進を図るため、各種広報媒体を使った館と催事のPR、県内外での営業活動を行った。
- 館内のサイン強化、長机の更新など設置者の業務を補完する備品の更新、及び小規模修繕など、館の利便性向上に取り組んだ。



館内のサイン強化



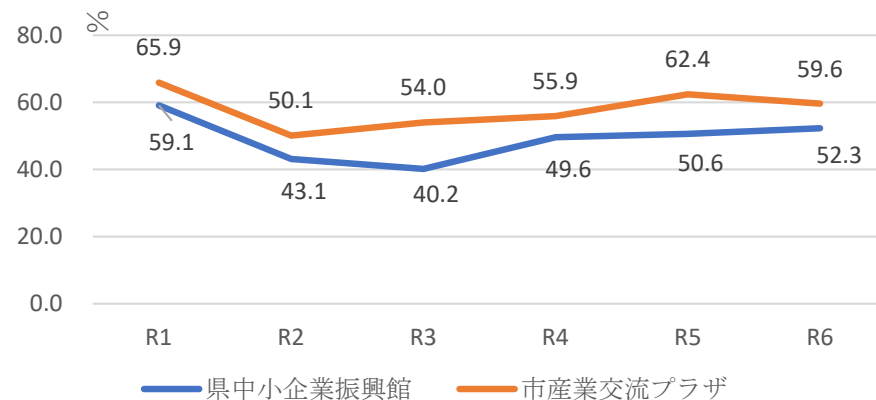
長机の更新

(2) 福島県中小企業振興館・福島市産業交流プラザ (コラッセふくしま会議室) の管理運営

	指 標	実績	計画
重点	福島県中小企業振興館の施設稼働率 (%)	52.3	60.0
	福島市産業交流プラザの施設稼働率 (%)	59.6	65.0

事業名	事業費	担当部局
コラッセふくしま管理運営事業	121,758千円 (指定管理料) 27,555千円 (指定管理料)	経営金融課 福島市

面積稼働率の推移



主な取組事例

- 指定管理者として、施設の利用に係る使用承認手続きや使用料の徴収業務の実施と日常における施設・設備の維持管理を実施した。
- 11月より市施設においては、コンビニ払い及びスマホ決済が可能となり、利用者の支払いの利便性が向上した。
- 次年度以降の学会・大会などの誘致に向け福島市をはじめとする関係機関と協力し、誘致活動を実施した。
- 幅広い利用者層に対して利用促進のための情報提供をSNS等を活用し周知したほか、HP上にVRツアーを掲載するなど、利用者の利便性及びサービス向上に努めた。
- 1階アトリウムなどを活用した県民参加型及び産業振興型の賑わいづくりへの取り組みによる、活動・交流の場を提供した。

コラッセふくしま1～5階

VRツアー公開！

当センターホームページにおいて、コラッセふくしま会議室及び、にぎわいスペース（1階アトリウム、5階プレゼンテーションスペース）のVRツアーを公開いたしました。

各会議室、1階～5階フロアを360度画像でご覧いただけます。

1階～2階フロア、及び3階～5階各会議室
<https://www.f-open.or.jp/support/event/guide.html>

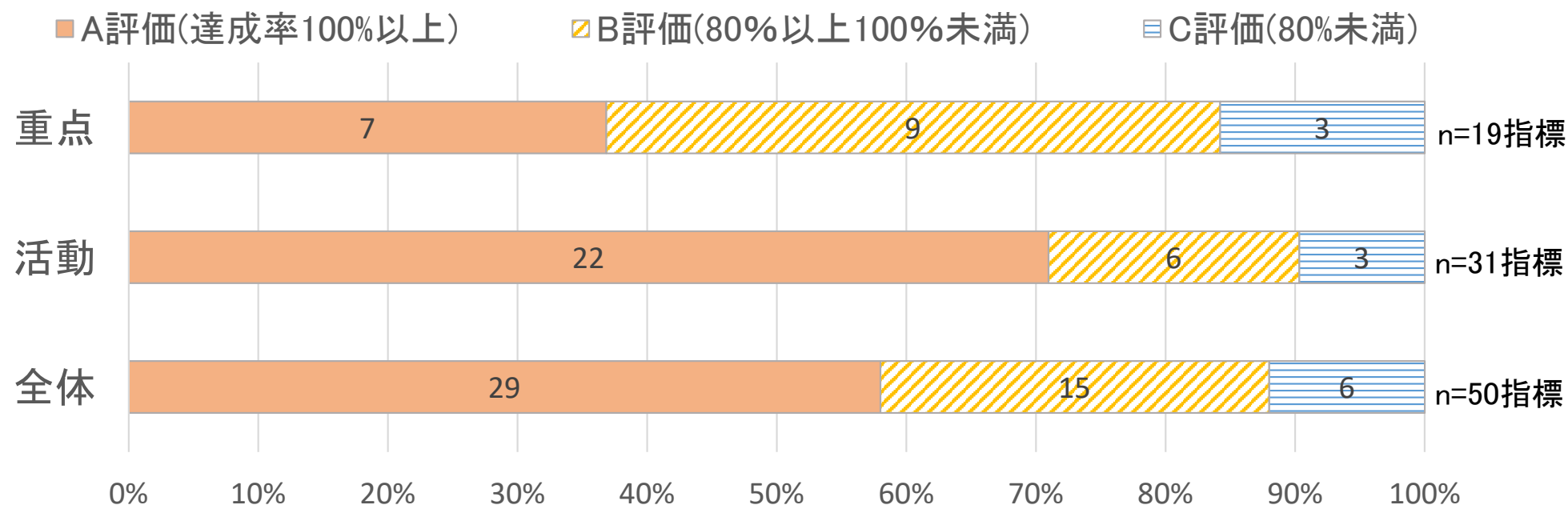
1階アトリウム、5階プレゼンテーションスペース
<https://www.f-open.or.jp/support/event/event.html>

下見に行く時間がない、平面図だけではイメージが分らない、部屋だけでなくフロアも含めて建物の雰囲気を掴みたいなど、会場探しにぜひご利用ください。

お問合せ先：公益財団法人福島県産業振興センター
 会議室受付 024-525-4089
 にぎわいイベント受付 024-525-4098

※VRツアー告知用チラシ

第6期中期事業計画(令和4～6年度)の実績評価



- ・ 指標全体で29指標がA評価、15指標がB評価、6指標がC評価となり、一定の活動は実施できたものと評価する。
- ・ C評価となった6指標については課題を洗い出し、第7期中期計画において取組みを強化する。
 - I-3-(1) ふくしま産業応援ファンド事業 [重点] 製品開発等事業化件数
 - II-1-(1) 経営支援プラザ等運営事業 [重点] 経営課題の解決件数
 - [活動] 専門家派遣件数
 - III-1-(1) 機械貸与事業 [重点] 設備投資件数
 - [活動] 申込件数
 - [活動] 決定件数

4 令和6年度 正味財産増減計算書

(百万円)

	R7/3	R6/3	前年度比
経常収益	2,781	2,529	252
運用益収益	523	522	1
事業収益	874	708	① 166
受取補助金・受託金	1,355	1,261	② 94
受取負担金	27	11	16
受取助成金	1	19	▲18
雑収益	1	8	▲7
経常費用	2,819	2,604	215
人件費	704	626	③ 78
事務費	219	202	17
貸倒引当金繰入	172	21	④ 151
当期経常増減額	▲38	▲75	37
経常外収益	14	12	2
準備金戻入益	14	12	2
経常外費用	1	4	▲3
その他	1	4	▲3
当期一般正味財産増減額	⑤ ▲25	▲67	42
一般正味財産期末残高	2,092	2,117	▲25
指定正味財産期末残高	1,546	1,545	1
正味財産期末残高	3,638	3,662	▲24

【要因分析】

● 経常収益

① 事業収益の増加

- ・機械貸与事業における割賦販売・リース実績の増加
- ・ビッグパレットにおける施設利用料収入の増加

② 受取補助金・受託金の増加

- ・県や国からの補助事業、受託事業実績額の増加

● 経常費用

③ 人件費の増加

- ・職員給与の定期昇給、ベースアップによる増加

④ 貸倒引当金繰入の増加

- ・機械貸与、原発・被災貸付事業における貸倒引当金繰入の増加

● 正味財産増減額

⑤ 当期一般正味財産増減額のマイナス

- ・ビッグパレットにおける内部留保金を活用した備品の更新
- ・機械貸与事業における貸倒引当金繰入額の増加

4 令和6年度 貸借対照表（資産）

（百万円）

	R7/3	R6/3	前年度比
流動資産	8,210	27,031	▲18,821
現金・預金	7,265	26,208	① ▲18,943
割賦・リース設備	687	486	201
未収損料・リース・賠償金	85	94	▲9
貸倒引当金	▲87	▲88	1
その他	260	331	▲71
固定資産	139,811	143,754	▲3,943
基本財産	1,462	1,462	0
特定資産	130,246	133,068	▲2,822
原子力貸付基金・準備金	36,359	37,492	② ▲1,133
被災貸付基金・準備金	8,403	8,357	46
自立・帰還基金	78,775	80,581	③ ▲1,806
産業応援ファンド基金	5,010	5,010	0
その他	1,699	1,628	71
その他固定資産	8,103	9,224	▲1,121
原子力貸付金・賠償金	4,843	5,562	▲719
被災貸付貸付金・賠償金	3,813	4,167	▲354
貸倒引当金	▲783	▲721	▲62
その他	230	216	14
資産合計	148,022	170,785	▲22,763

【要因分析】

● 流動資産

① 現金・預金の減少

- ・原子力貸付事業における貸付原資の県への返還

● 固定資産

② 原子力貸付基金・準備金の減少

- ・原子力貸付事業における返還準備金の県への返還

③ 自立・帰還基金の減少

- ・自立帰還支援事業における補助金支出の増加

4 令和6年度 貸借対照表（負債・正味財産）

（百万円）

	R7/3	R6/3	前年度比
流動負債	1,103	19,889	▲18,786
短期借入金	880	700	180
1年以内返済長期借入金	0	18,994	① ▲18,994
未払金・未払費用	172	156	16
補助金・受託金返還金	24	22	2
その他	27	17	10
固定負債	143,281	147,234	▲3,953
長期借入金	61,838	62,175	▲337
長期預り基金	78,775	80,581	② ▲1,806
原子力貸付返還準備金	1,587	3,462	③ ▲1,875
被災貸付返還準備金	821	755	66
退職・共済引当金	155	141	14
その他	105	120	▲15
負債合計	144,384	167,123	▲22,739
指定正味財産	1,546	1,545	1
出捐金	1,443	1,443	0
運用益	103	102	1
一般正味財産	2,092	2,117	▲25
正味財産合計	3,638	3,662	▲24
負債及び正味財産合計	148,022	170,785	▲22,763

【要因分析】

● 流動負債

- ① 1年以内返済長期借入金の減少
・原子力貸付事業における貸付原資の県への返還

● 固定負債

- ② 長期預り基金の減少
・自立帰還支援事業における補助金支出の増加
- ③ 原子力貸付返還準備金の減少
・原子力貸付事業における返還準備金の県への返還

5 事業推進に向けた取り組み① 情報発信の強化

支援活用事例のHPへの新規掲載

センターが提供する各種支援・サービスのさらなる利用促進を図るため、パンフレットやSNS、関係機関を通じた事業案内による周知に加え、新たにセンターHPに支援活用事例のページを新設し、**積極的な広報活動の実施**により**情報発信を強化**します。

○具体的な掲載情報

・掲載記事の内容

企業概要や活用した具体例、企業の声など、実際に職員が取材をして得た生の声を掲載することで、より関心が高まるような記事構成で掲載。

・掲載スケジュール

第1弾:9者掲載済み（令和7年4月）

第2弾以降:毎月記事追加予定。

※5月:1社掲載済



※その他、HP、SNS、メールマガジン等、複数の広報手法の組み合わせにより発信力を強化していきます。

5 事業推進に向けた取り組み② 連携の強化

3 機関連携の推進

複雑化・高度化する中小企業・小規模事業者の経営課題に応じた支援を提供するため、3機関（よろず支援拠点、事業承継・引継ぎ支援センター、中小企業活性化協議会）の連携を強化することとし、令和6年5月に「3機関連携推進会議」を発足した。令和7年1月から福島県信用保証協会がオブザーバー参加。

令和6年度連携実績		紹介先機関			合計
		よろず	承継	活性協	
紹介元機関	よろず支援拠点（よろず）	-	11	5	16
	事業承継・引継ぎ支援センター（承継）	8	-	0	8
	中小企業活性化協議会（活性協）	15	4	-	19
合計		23	15	5	43

福島県信用保証協会との連携

よろず支援拠点へ橋渡し	14件
中小企業活性化協議会へ橋渡し	35件
事業承継診断件数	56件

【3機関の連携事例】

- ・経営改善計画策定後のアクションプラン実行支援（活性協→よろず）
- ・販路拡大等 伴走支援先の事業引継ぎ支援（よろず→承継）
- ・事業引継ぎ支援先の本業磨き上げ支援（承継→よろず）

相談会・セミナー等の開催

3機関連携推進会議

日時 令和6年5月10日
日時 令和7年1月23日

3機関合同相談会

日時 令和7年3月4日
場所 ビッグパレットふくしま
相談 4件

経営者の奥様向けセミナー（経営者の老後を考える）

（福島信用金庫・東邦銀行連携）
日時 令和6年10月8日、9日
場所 コラッセふくしま、東邦銀行会津営業部
参加 2日間計42名

事業者支援に関する金融機関勉強会

（福島財務事務所、ふくしま経営支援連携協議会共催）
日時 令和7年3月12日
場所 福島県信用保証協会会議室
参加 金融機関の若手行員29名

5 事業推進に向けた取り組み③ 支援情報の一元化

企業情報システムの構築・運用

これまで各課ごとに管理・運用していた企業情報にかかるシステムを統合し、**支援情報の一元管理**をすることで、情報共有の迅速かつ簡素化による業務効率の向上、データの整合性が保たれることによる信頼性の向上を図り、**連携深化**による部署横断型の支援体制を一層強化します。システム構築の完了後、令和7年10月からの運用開始を予定しています。

○導入による具体的効果

・顧客対応の迅速化

→ 顧客情報の一元管理により、迅速かつ的確な対応が可能になります。

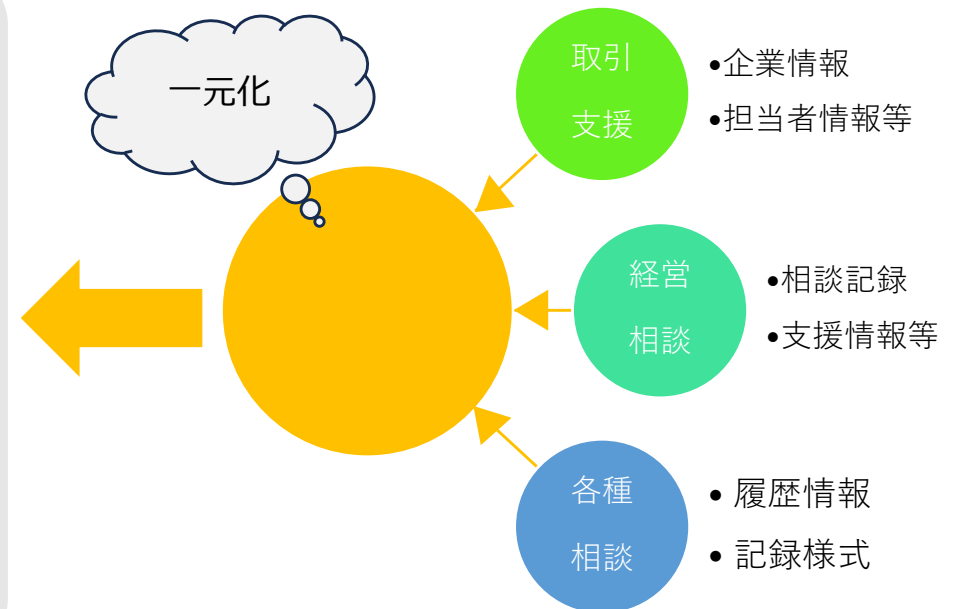
・サービスの質の向上

→ 顧客のニーズに合わせたサービス提供が容易になります。

・顧客満足度の向上

→ 効率的な業務運営により、顧客満足度が向上します。

※イメージ図



kintone :サイボウズ株式会社が提供する業務のシステム化や効率化を実現するシステムにかかるクラウドサービス。